

ネットワークセキュリティ

1. 概要

ネットワークセキュリティは、ユーザーが安心して V-Campus を利用できるように VPN 接続サービス、学外からの不正通信を検知・防御を行うファイヤウォールや IPS、（Intrusion Prevention System:以降、IPS と表記）またマルウェア対策を含むシステムである。

2. 利用状況

(1). 2016 年度の年間検出延べ件数と最も多かった 7 月度の内訳を示す。

【マルウェア・不正サイト検知件数】延べ件数

年月	件数	年月	件数
2016 年 04 月	55	2016 年 10 月	16
2016 年 05 月	39	2016 年 11 月	19
2016 年 06 月	102	2016 年 12 月	44
2016 年 07 月	612	2017 年 01 月	32
2016 年 08 月	22	2017 年 02 月	38
2016 年 09 月	8	2017 年 03 月	30

表 1：月別件数

2016 年 7 月度検知状況内訳 上位 10 件

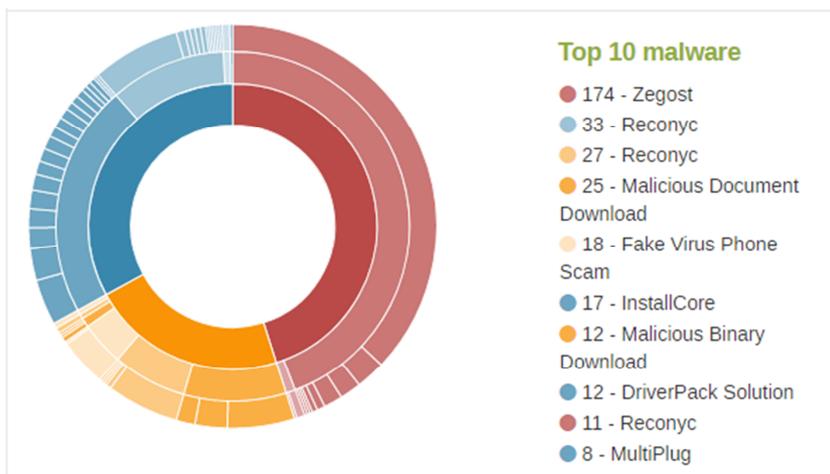


図 1：2016 年 7 月度 内訳

- (2). 学外（自宅、出張先等）から大学への VPN 同時接続数を以下に示す。
 図は同時接続数であるが、月間の利用者数は 150～250 程度となる。

2017 年 3 月度 VPN 同時接続数統計

※システム最大同時接続数：250

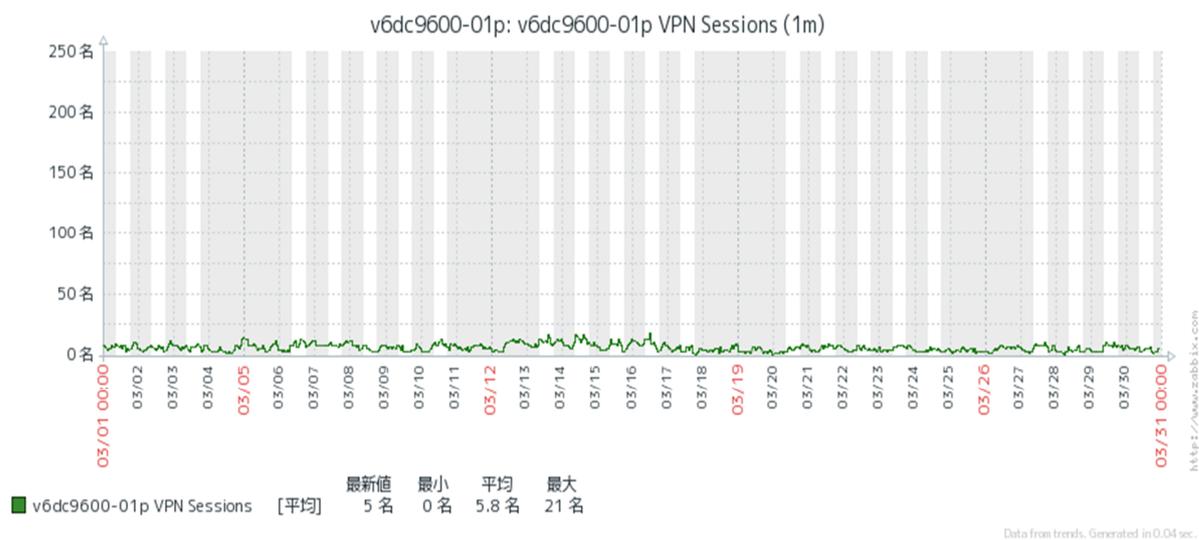


図 2 : 2017 年 3 月度 VPN 同時接続数

3. 2016 年度のまとめ

マルウェアに対する日頃の注意喚起のためか、学内端末数に対してアラート件数は比較的少ないと思われる。

サーバに関しても V-Campus6th リプレース時の DMZ (DeMilitarized Zone) 見直しから IPS 最適化による効果は明らかである。今後もセキュリティトレンドを把握し、課題であるエンドポイント強化を検討、より安全なネットワークインフラ提供を目指す。